

「先生は安倍首相と日本国とどちらが大切なのですか？他」

平成 26 年 12 月 23 日

衆院選の最中は一問一答を撮ることができず、非常に多くの質問が溜まってしまいました。よって今回の一問一答は、複数の質問に対してまとめてお答えします。

●トップハンデさんからの質問

メディアは選挙一色ですが、最高裁裁判官の国民審査を忘れたらだめだと思います。一票の格差や婚外子の相続問題など、論点は満載です。政治家が自分の議席、我が党の議席に没頭していたら司法が永田町の足元をすくうことになりかねません。西田氏の見解をお願いします。

●西田昌司の答え

選挙中は言いたくとも言えませんでした。が、「最高裁判所裁判官国民審査は全て×を」と訴えたかったです。「一票の格差の違憲判決」や「非嫡出子の相続格差の違憲判決」等、最近の判決はかなり常識から外れた判決が目立ちます。今の最高裁判所裁判官には辞めていただきたいと思います。

●さっしさんからの質問

いわゆるリフレ派経済学者がいらっやいます。原田泰氏、岩田規久男氏、浜田宏一氏等が代表例です。上念司氏、田中秀臣氏、倉山満氏、もその傾向が強いです。原田氏の著書を読むとデフレは貨幣現象だ、規制緩和が日本を救うなどとおっしゃっています。彼らも新古典派経済学者若しくは新自由主義の仲間であると断言してよいのでしょうか。リフレと名乗っているので、とても紛らわしいです。西田先生の見解をお聞かせください。

●西田昌司の答え

リフレ派と言われる方々に新自由主義的な考えの持ち主が多いのは事実だと思いますが、私はこれらの人々のおっしゃっていることについては良く知りませんので、新自由主義者との断定は差し控えさせていただきます。

●よしさんからの質問

自民党の今回の公約にて、道州制について書かれています。正直、有権者としてはあの様な書き方では非常に判断に迷います。利点も目的も述べられていません。そもそも現憲法は非常にわかりにくくそう言う意味でも改正が必要と言われていています。そんな憲法改正を目指す自民党が道州制に関してあの様な曖昧な記述では困るんです。西田さんにご説明していただけると嬉しいです。私はあなたを応援しているので当然反対です。自民党が目指す道州制とはなんなんですか？メリットデメリット双方述べて頂けると嬉しいです。よろしくお願い申し上げます。これからも頑張ってください！

●西田昌司の答え

道州制は百害あって一利なしです。道州制は「行政を効率化して無駄をなくす」という発想であり、その結果として地方の予算の削減が可能と言われていますが、予算を減らしたら地方が活性化するはずがありませんし、都市と地方の格差がますます広がるだけの結果になります。

●トップハンデさんからの質問

衆院選でいつも思うことがあります。小選挙区は死票製造機である。そして、選挙に強いただけの人が当選します。政党間での連立や協力もあります。一割近くが無効票になる選挙区もあります。(特に、大阪、兵庫の一部) 連立や協力相手に気兼ねして、政治家も言いたいことが言えない空気を作ります。西田氏に質問です。小選挙区制は政治を劣化させているのか否か？大選

挙区等で、名前を複数書ける制度がいいと思いますが、いかがでしょうか？

●西田昌司の答え

小選挙区制は、小沢一郎氏の「政権交代可能な二大政党制を実現させる」との掛け声の下に導入されました。小沢氏は「選挙は政策によって選ぶべき」と訴えましたがこの発想自体が間違っておりまして、そうではなく「選挙は人柄によって選ぶべき」なのです。小選挙区制が導入された時、私は京都府議会議員でしたが、参議院の地方公聴会の公述人として次のような意見を述べました。政治家を選ぶ際は「この人が信用できるか否か」といった人柄に基づいた判断にならざるを得ないし、政策で政治家を選ぶというのは嘘なのです。

●ゆうきさんからの質問

今回の衆議院選挙の争点は2年間の安倍政権の評価ということになると思いますが、私は新自由主義的な経済政策に賛同できないので自由民主党に投票することに強い抵抗を感じています。西田先生はそういう人たちに「自民党に投票すべきだ」と言われるのでしょうか。

●西田昌司の答え

先日、安倍総理にお会いしましたが、決して新自由主義的な政策ばかりに傾倒しているわけではないことを確信いたしました。現状では残念ながら自民党以外に政権を託せる政党がありません。「景気回復、この道しかない」というよりも「安倍総理、この人しかない」という現状ですから、私も「自民党に投票してください」と訴えてきました。

●田中一郎さんからの質問

西田さんは安倍首相と日本国とどちらが大切なのですか？これまでの西田

さんを見てると「日本は滅びてもいいから安倍さんだけは生き残らせよう」という手段と目的の逆転した思考を持っているように見えますが？

●西田昌司の答え

どちらも大事ですが、安倍総理はいろいろな角度から日本を考えておられるのは間違いありません。この件については新年号で詳しくお伝えしたいと思います。

●salir さんからの質問

はじめて投稿させていただきます。いつも動画で貴重なご意見・寸評ありがとうございます。さて、自民党でも貴重なお考えを述べられる西田先生ですが、やはり党内において相容れない考え方は多々あるかと思います。またその方針でことが進めざるを得ない場合もあります。そうしたなかで西田先生はどのような心持ち・ストレスなどどのように対処されているのかお答えいただきたく、よろしく願いいたします。

●西田昌司の答え

自民党の掲げる政策は新自由主義的なものが多くあり、それらを何とか修正したく議論をしていますが、相容れない意見も多く、なかなか思うようには前に進みません。しかし、政治とはそのようなものだと思っています。いろいろな考えの人と議論を重ねていく中で、折り合いをつけながらより良い政策を探っていくのですが、かなりの労力が必要でストレスも相当に溜まります。そのような時、私はひたすら歩いてストレスを発散させます。今年も東海道五十三次・中山道六十九次を歩きましたが、歩き続けると無心になるより他になく、心の中のものもやもやしていたものが汗と一緒にどこかに吹き飛んでしまいますし、目先のことには拘らずにもっとゆったりとした気持ちでやっていこうという境地に至ります。皆さんも是非、私のストレス解消法をお試しく下さい。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>